

無所属

もっと住みやすい
狭山に!

かず ね

にしづか和音

狭山のまちづくり

地元に残りそう入曽の整備を!

● 入曽駅周辺整備は市民・利用者が望むものに

- ① 歩行者や車などがぶつからない安全に配慮したまちに
- ② 大手スーパーマーケットと地元店舗との共存したまちの発展を
- ③ 東西自由通路を活かした形の入曽駅西口側の活性化を



● 活性化に期す工場跡地や学校跡地など大規模な土地の利活用を

- ① 老朽化した工場の建て替え、設備の更新などのタネ地としての活用など
- ② 公共施設の建て替えと、公民連携手法による活用の好例をつくるために
- ③ 土地の面的整備を進めるために必要な道路整備を



● 狭山のまちづくりは地域ごと・生活環境の特徴を活かしながら

- ① 継続して働ける環境と住・子育て環境を目指した雇用を守るまちづくりに
- ② 公園や河川敷を活用して、居心地の良い憩いの場づくりに
- ③ 子育て世代の時間の確保を目指して、世代間を超えたサポートを



地元に寄りそう狭山のまちづくり

まちの特徴を活かした環境整備と発展を

工業のまち狭山の維持・発展につなげるために

- 2つの工業団地を抱え、従業員も多く住む狭山市の持続的な住環境を。
- 空き家を活用したコミュニティの活動の場、居場所の創出を。

地域の規模、集客、学校区や、バス停からの距離などに応じたまちづくりを

- 買い物、学校を始めとした教育施設、保育施設などを必要なサイズに。
- 市役所、病院、駅などの交通アクセスなどの診断と充実させる手段を。



憩いの場としての活用を（中原公園）



人の集まる河川敷を憩いの場として

にしづか和音のプロフィール

昭和44年生まれ 入間小、山王中、錦城高校、城西大学卒、
日本大学大学院理工学研究科 博士前期課程修了
(財)政策科学研究所客員研究員、専門学校非常勤講師等
市議会議員2期、NPO 法人日本地域遺産推進協議会 理事

大学院時代は地理学を専攻し、
客員研究員時代は、農林水産省委託
事業に取り組みました。
地域社会の持続性について研究して
きましたが、知識と経験を活かして、
ここ狭山においても、地域を活かした
まちづくりに取り組みたいと思って
います。

無所属

かすね

にしづか和音

ご質問・意見 何なりとお寄せ下さい。

〒350-1316 狭山市南入曽 674-4-201

電話：090-1986-4106 FAX：04-2937-3132

HP：<https://www.nishizukakazune.com/>